



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄砲) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.5.22 No. 3397

三里塚を闘う労働運動こそが 90年代をきりひらく!

5・19現地集会
かちとられる

五・一九三里塚現地集 情勢に対し、既成指導部
会は、反対同盟所有地に 決意を全体のものとし
た。の屈服をのりこえ、労組
空港拡張工事絶対阻止、 また、特別報告のなか
交流センターを中心にし
取用法・治安攻撃粉砕、 で動労千葉中野委員長は、 て「共同行動委員会」を
結成し、五〇七月反戦闘
公開シンポジウム粉砕、 うって海外派兵 侵略国 争の高揚を創っていくこ
とを提起した(発言要旨
脱落派粉砕・一掃)を貫 家化を進めている今日の

公開シンポは強制収用の世論作りの場

集会の冒頭あいさつに 実力闘争に再度立つ決意
立った反対同盟北原事務 を明らかにしたい。そし
なのだ。公開シンポの「
局長は、「政府・空港公 てこれが勝利の道である
調停役」 学識経験者六
団は二期完成 早期着工 ことを確信している。
名の中心人物は、「七八
を画策している。三里塚 政府・公団は強制収用
年開港時の運輸省航空局
二五年の闘いは国家暴力 による土地強奪をきめて、
長であり、座長は国鉄分
との闘いであった。十三 世論づくりのための公開
割・民営化の立役者の一
年前の福田内閣による空 シンポジウムを開こう
人である。まさに利権集
港出直し開港に対する闘 としてい。なぜシンポ
団の地域振興連絡協議会
いに示される空港廃港 粉碎なのかと言え、こ と同質のものであり、二

労働者の歴史的責務にかけて侵略阻止へ

中野委員長が特別報告
反戦闘争への結集をよびかける

動労千葉は、一九八五 平和維持活動(法定化策
る。 当面六月二三日東京・
年二波のストを皮切りに 動など、まさに戦争の時
代へと突入した。 明治公園での集会から、
労働者の誇りをかけて闘 代へと突入した。 侵略戦争にいどむ闘いを、
いぬいてきた。反動とし 重なる既成指導部は何ら 労働者の歴史的責務をか
て四六名にも及ぶ不当解 闘いを組織しえていない。 けて組織する。
雇攻撃をかけられたが、 われわれは、労組交流セ 車の両輪として、三里
物販運動など物心両面の ンターを中心に、「共同 塚の勝利なくして動労千
支援をうけつつ、「JR 行動委員会」を結成し、 葉の勝利がないことを肝
体制」と対決し抜いてい 自衛隊の海外派兵に反対 に命じ、連帯の輪を深く
る。 する圧倒的な反戦闘争の しながら進撃したい。

米帝の侵略戦争たる中 東戦争を機に、自衛隊の 海外派兵、PKO(国連



強制収用攻撃を許さず
侵略戦争阻止へ、新た
な闘いの先頭にたとう

期推進機関そのものだ。
中東湾岸戦争には、こ
の成田空港から輸送機が
「日の丸」をつけて出て
いくなど、軍事使用が開
始されている。かつての
アジア侵略への逆行が目
前に迫っているものと見
なければならぬ。
その意味においても、
三里塚二五年の闘いの真
価が、そして新たな人民
の潮流こそ新たな日本の
基盤をつくることを確信
う。
し闘いぬこう」と、胸の
熱くなる基調を提起した。
集会では、反対同盟の
決意をはじめ、全国各地
で闘う人々の決意と報告
をうけ、その後元気よく
デモ行進をかちとった。
三里塚を闘う労働運動
こそが、反戦・平和を実
現できるものであること
を日本労働運動総体に示
そう。激動の九〇年代を
われらが手で切りひらこ
う。

J・R総連側が分裂組織

西鉄労分裂問題は、ついにJ・R総連側が分裂組
織の結成にふみきり、西鉄労は完全に分裂状態に
入った。J・R総連側は十八日集会を開催し、五月
二三日「J・R西労」を結成することを明らかにし
た。「鉄道労連」時代をふくめて、初めての分裂
となり、J・R総連側は少数派・反対派の位置にた
たされることになった。(詳細別途)